

後輩たちへのエール！ その68

2023年3月23日

やりたいことに打ち込もう！

◇今回は、西出哲也さん（東京大学大学院在籍）からのメッセージです！

関高生の皆さん、そしてこれから関高校に入学される皆さん、はじめまして。

2017年3月に関高校を卒業した、西出哲也と申します。2023年3月現在、大学院修士課程の2年生で、4月から民間企業に就職します。

関高の卒業生として、過去を振り返って気づいたことを書かせていただきます。これが少しでも皆さんのお役に立てると幸いです。

「何にでも打ち込める関高校」

そもそも私が関高校に進学したのは、地元で進学実績があったからでした。運動が苦手だった分、勉強が小学生の頃から好きで、同級生の中では時間をかけていたほうだと思います。高校受験を終えたあたりから漠然と、「大学入試のために勉強を頑張らなくては」という思いがありました。

高校では勉強に集中したいという理由から、部活には入らないという選択をしました。そのため放課後は、家に帰って課題や自習をしていたことが多かったと思います。高校1年生の最初の定期考査で思いの外良い成績を取れたため、努力が結果に返ってくる感じがして、ますます勉強することが好きになっていきました。そのようにして高校生の私は、勉強に打ち込むようになりました。

学力について言うと、学校の授業や課題をしっかりとこなすことで、大学受験に必要な基礎的な学力を身につけられたと思っています。

またそれに加えて、勉強面に関して様々なサポートを受けることができました。希望者に対して先生方がより発展的な内容を教えてくださる補講があったり、学校の授業とは関係ないテキストに関する質問にも先生方が快く丁寧に答えてくださったり、入試前に過去の問の添削を信頼できる先生にお願いできたりなど、様々なサポートしてもらいました。今振り返ると、大学受験に必要なことの多くを享受できる恵まれた環境にいたなと感じます。

ここまで勉強の話ばかりでしたが、もちろん高校生活はそれだけに縛られたものではあ



高校2年生時の文化祭での劇（2015年9月）

りませんでした。私の周囲では、勉強と並行して部活動に励んでいる人も多かったですし、学校の枠を飛び出て留学をする人がいるなど、各々が興味を持っていることに打ち込めるような自由な雰囲気がありました。そうした中で、自分のやりたい勉強を伸び伸びとできたことは、非常に居心地が良かったと思います。

勉強したい人、部活を頑張りたい人、学校行事を楽しみたい人、いろいろな方が関高校に入学されると思います。関高校では、自分の意志さえあれば何にでも取り組みます。後から振り返ると、こうした経験は自身のかけがえのない財産になっていると思います。

「今やりたいことに打ち込もう」

高校では部活には入らず勉強をしていたと書きましたが、中学生の頃から筋トレやランニングを習慣にしていました。そのため、高校生の頃も地元のジムに通ったり、毎日のランニングを継続していました。大学入学後は、トレーニング仲間をつくりたいという気持ちから部活に入部し、パワーリフティングという競技に打ち込みました。大学入学後に始めた競技でしたが、自分なりに納得のいく大会成績を残すことができました。そして何より、部活の同期や先輩後輩と大会に向かって練習することが楽しく、やってよかったなと思える経験となりました。

もちろん良かったことばかりではなく、大変なこともありました。勉強では、思うように成績が伸びなかったり、自分を追い込みすぎて体がついていかない時などがありましたし、部活では、思うように記録が伸びなかったり、減量がきついときもありました。しかし、そうした大変なこともやはり、今振り返ると自分の財産になっていると思います。勉強にせよ、部活にせよ、一つのことに打ち込むことで見えることがどんどん増えてくると楽しいですし、自分がどこまでできるのかという限界を知ることができます。また、一つのことをきちんとやり抜く力も培われると思います。以上のことは、何をやるにしても必要とされるものです。

今打ち込んでいるものがある人は、それを徹底的にやりこみましょう。まだそれが見つかっていない人は、色々なことを試してみて、今自分が心からやりたいと思うことを見つけてみましょう。関高校は、皆さんのやりたいことをきつと後押ししてくれると思います。

ここまで文章を読んでくださり、ありがとうございました。皆様のご健康と一層の飛躍を心よりお祈り申し上げます。



学生生活最後のパワーリフティング大会
(2019年12月) 必死に挙げていますね。